



## 本県栽培漁業の現状と課題について

- I 栽培漁業とは
- II 富山県の栽培漁業
- III 富山県の栽培漁業対象種

令和元年12月26日  
富山県水産漁港課

1

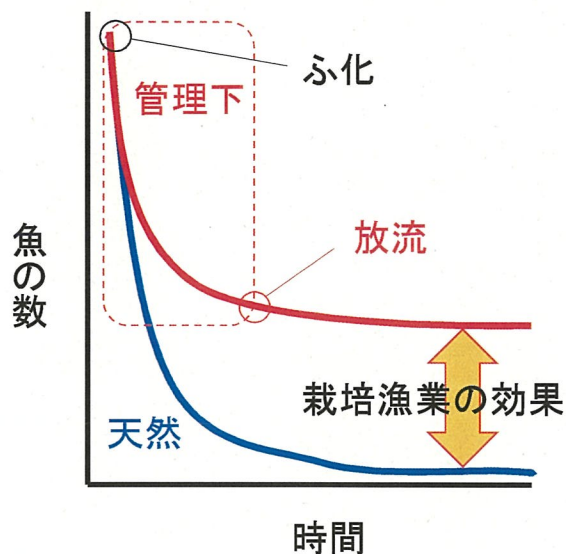
### I 栽培漁業とは

- 1 栽培漁業とは
- 2 栽培漁業の歴史
- 3 栽培漁業の流れ
- 4 種苗生産の主な流れ
- 5 栽培漁業のPDCAサイクル
- 6 全国における栽培漁業の取組み状況

2

## 1 栽培漁業とは

栽培漁業は、水産動物の減耗が最も激しい卵から仔稚魚の時期を人間の管理下において飼育・育成(種苗生産)し、これを天然の水域へ放流した上で適切な管理を行い、対象とする水産資源の持続的な利用を図ろうとするもの。



3

## 2 栽培漁業の歴史

昭和30年代 瀬戸内海で漁獲量が減少

昭和38年 瀬戸内海に国の栽培漁業センターが設立

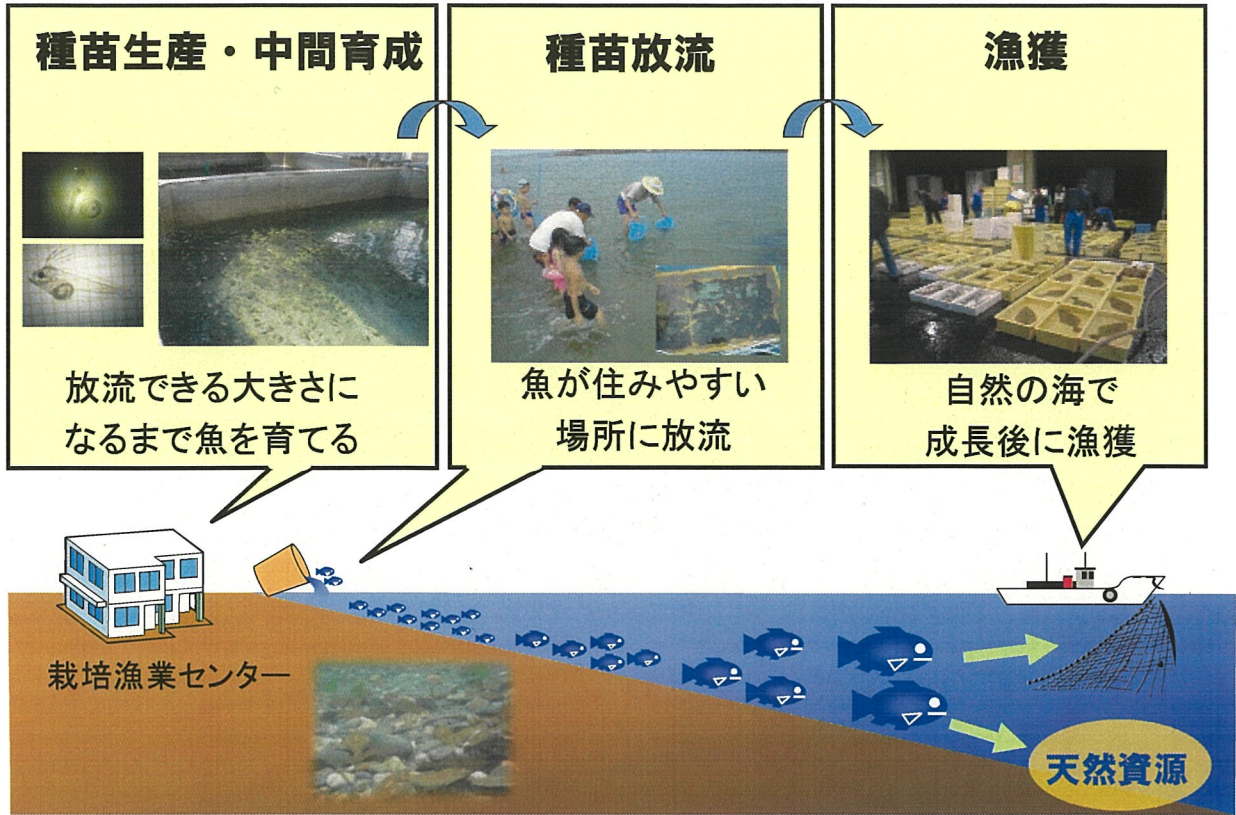
昭和50年前後 200海里時代→沿岸漁業を重視

昭和50年代 全国都道府県に栽培漁業センターが設立

現在 日本中で栽培漁業による資源の維持・管理が実施

4

### 3 栽培漁業の流れ

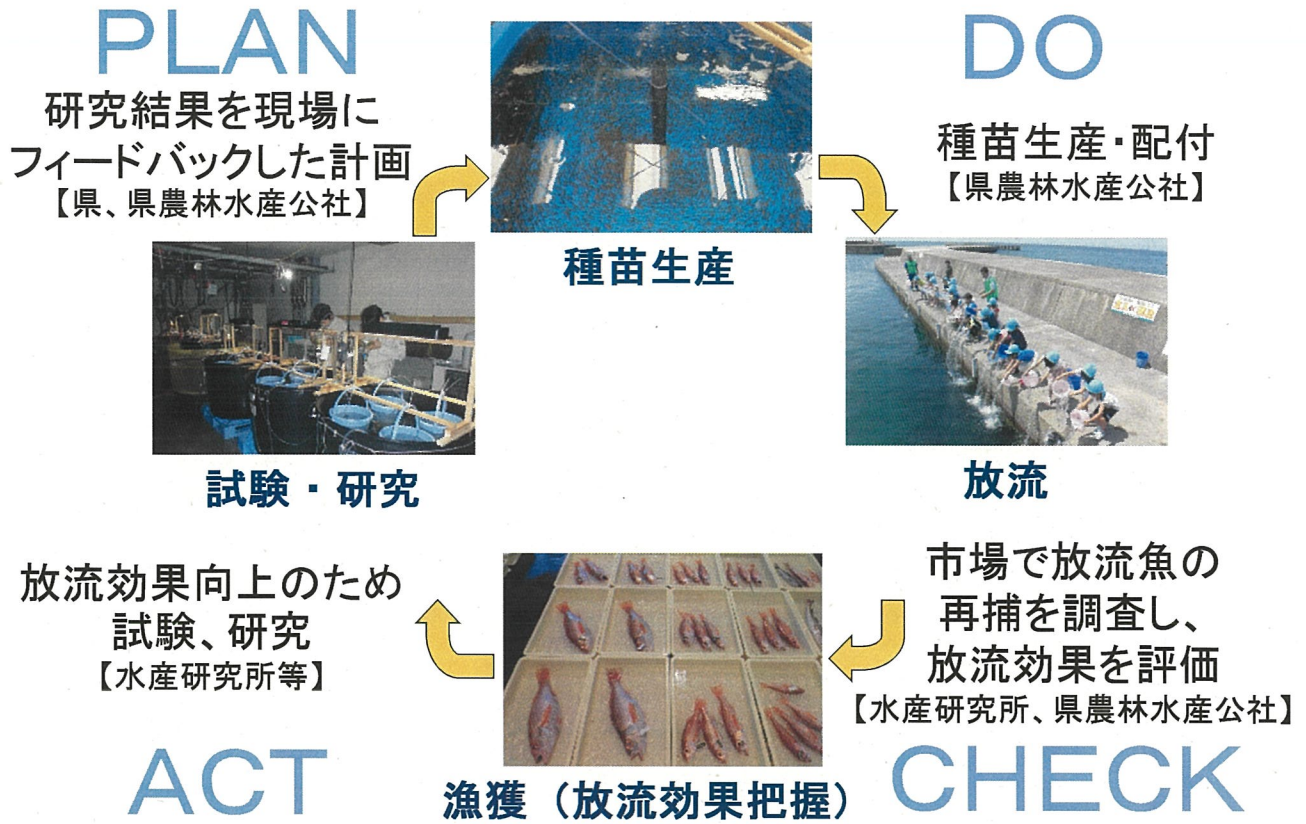


### 4 種苗生産の主な流れ



## 5 栽培漁業のPDCAサイクル

【本県の場合】



7

## 6 全国における栽培漁業の取組み状況 (H29年度実績)

種苗生産種数 66種

内訳	魚類	甲殻類	貝類	その他
	32種	10種	18種	6種
主な種 (生産数)	ヒラメ (1,712万尾)	クルマエビ (10,051万尾)	ホタテガイ (333,642万個)	マナマコ (8,959万個)
	マダイ (1,159万尾)	ヨシエビ (2,649万尾)	エゾアワビ (1,299万個)	エゾバフン ウニ (3,929万個)
	ニシン (565万尾)	ガザミ (2,501万尾)	クロアワビ (560万個)	キタムラサキ ウニ (649万個)

8